

平成26年12月10日

東栄町長 尾林克時 様

東栄病院整備検討委員会  
会長 佐々木 経人

東栄病院整備検討委員会の検討結果について（報告）

貴台から検討の依頼がありました東栄病院整備に伴う規模、場所等につき、6回にわたる東栄病院整備検討委員会で慎重に審議いたしました。

つきましては、検討結果を別添「東栄病院整備検討委員会検討結果報告書」により報告いたします。

なお、東栄病院の建設に伴う諸計画にあたっては、本報告書の内容を踏まえ、東栄町民にとって望ましい医療が持続的に提供できる医療施設となるよう、近隣市町村や東三河北部医療圏域の医療機関を始め、関係機関との連携を図ると共に、愛知県が推進する第5期愛知県高齢者健康福祉計画福祉タウン構想等も視野に入れて整備されるよう要望します。

# 東栄病院整備検討委員会

## 検討結果報告書

平成26年12月

東栄病院整備検討委員会

## 目 次

はじめに	1
検討結果報告	2
1. 規模	2
2. 場所	3
3. 経営形態	5
東栄病院整備検討委員会設置要綱	6
東栄病院整備検討委員会委員	7
東栄病院整備検討委員会検討経過	8

## はじめに

東栄町国民健康保険東栄病院（以下「東栄病院」という。）は、昭和23年に前身である長岡診療所が開設され、昭和23年に三輪村営診療所となり、昭和31年の町村合併によって東栄町に引き継がれた。その後昭和36年に東栄病院となり現在に至っている。

開設以来、山間へき地の中核病院（へき地医療拠点病院）として東栄町をはじめ、圏域内住民の生命と健康を守る拠点として、院内の増改築、医療器械等の整備をはじめ、保健・医療・福祉に対する要望の多様化に応えるべく診療科目の増設や介護療養型保健施設の設置などを進めてきた。

また、平成19年度には地域における医療機関の機能分担と連携の確保を図り、病院の再編と経営健全化を進めるため指定管理者制度を導入し、公設民営化した。

しかしながら、急速に進む過疎化に伴う人口減少による患者数の減少、へき地医療拠点病院としての医療圏内の医療支援や近隣医療機関との連携、医療従事者・介護スタッフの確保、施設の老朽化等今後の課題は山積している。

このような中、東栄町の介護・福祉の現状を把握し、今後の望ましい医療のあり方を調査研究するため、平成24年度に「東栄町医療のあり方検討委員会」を設置し、12回の委員会と2回の先進地視察を経て、今後の東栄病院のしくみ、規模、場所、経営形態、人材確保についてそれぞれの現状、議論内容、意見・総論を東栄町に報告し、一定の方向性が示された。

東栄病院については、東栄病院本館の耐震基準が満たされていないこと、指定管理者制度の協定期間が平成28年度末で満了を迎えること、病院運営の効率化を図るための施設整備が必要なこと、北設3町村の連携の中で東栄病院が核として位置付けられたこと、医師確保のために医療機器の更新や施設の環境整備が必要であること等の理由により、病院の整備が求められている。

こうしたことから、医療のあり方検討委員会での報告書をベースに、もう一步踏み込んだ意見を集約して東栄病院の整備規模、整備場所、附属診療所の設置等について協議するため、平成26年度に「東栄病院整備検討委員会」を設置し、6回に及ぶ委員会で多角的に慎重な検討を重ねた。

本委員会での検討結果をここに報告する。

平成26年12月10日

東栄病院整備検討委員会  
会長 佐々木 経人

# 検討結果報告

## 1. 規 模

### <検討内容>

東栄病院の規模について、東栄町医療のあり方検討委員会の報告書では、「委員会としては、規模は一般病棟20床前後、老健40床～50床の規模でなるべく病院としての機能を維持した形で、状況に応じて規模縮小はやむを得ないという意見が多数であった。」と結論付けている。

あり方検討委員会の結論から期間も経過していることから、本委員会では再度次の5案について検討を行った。

- |             |                      |
|-------------|----------------------|
| ①現状維持       | 一般病床 40 床、老健 29 床    |
| ②病院規模見直し（1） | 一般病床 29 床、老健 40 床    |
| ③病院規模見直し（2） | 一般病床 20 床、老健 40～50 床 |
| ④有床診療所      | 一般病床 19 床、老健 50 床    |
| ⑤その他        |                      |

### <意見等>

病院の規模を検討するうえで、次の意見等が出された。

- ・現在は看護師や介護スタッフが不足しており、入院・入所の制限をしている
- ・病院と老健の両方を運営することは人材的にも運営的にも厳しい
- ・病院に併設してリハビリを兼ねた老人保健施設を整備したらどうか
- ・一般病床は、病院としての機能を維持するため最低20床は必要
- ・老健は現在の利用状況から30床前後が妥当
- ・現状は厳しい運営だが、今後の期待を含めたプラスアルファの考えが必要
- ・老人保健施設については、介護保険事業計画策定委員会の検討結果も踏まえた方が良い

### <結論>

本委員会で検討した結果「病院としての機能を維持するため一般病床は20床規模とし、老人保健施設は20～30床を妥当とするが、介護保険事業計画策定委員会等の意見も尊重する」という結論に至った。

## 2. 場 所

### <検討内容>

東栄病院の整備場所については、東栄町医療のあり方検討委員会で候補地となり得る場所の利点を検討し、7箇所を列举した。

本委員会では、7箇所のうち現実的に建設が可能と思われる次の4箇所を候補地として選定し、検討を行った。

候補地	特徴（メリット）	課題（デメリット）
①旧本郷校舎付近 （明石(株)旧東栄工場用地）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の中心部である</li> <li>・公共交通バスなどのアクセスが良い</li> <li>・近くに商業施設があり便利</li> <li>・施設等の集約化ができる</li> <li>・ヘリポートが近い</li> <li>・温泉が活かせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場の取り壊しが必要</li> </ul>
②旧東栄小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の中心部である</li> <li>・近隣町村（設楽、豊根）の患者も来やすい</li> <li>・近くに商店、金融機関、経済団体等の施設があり便利</li> <li>・ヘリポートが近い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧小学校の取り壊しが必要</li> <li>・公共交通バスの路線変更が必要</li> <li>・周辺の道路が狭い</li> </ul>
③東栄病院付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J R 飯田線利用の患者が見込める</li> <li>・後方病院（新城、豊川、浜松等）への救急搬送はロスが少ない</li> <li>・東栄インターに近い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東栄病院の取り壊しが必要</li> <li>・取り壊し中に仮設の病院が必要</li> <li>・用地（駐車場を含む）が狭い</li> </ul>
④旧奈根小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的経緯が尊重される</li> <li>・国道沿い、東栄駅に近い</li> <li>・町外の患者利用が見込める（新城、佐久間方面）</li> <li>・後方病院（新城、豊川、浜松等）への救急搬送はロスが少ない</li> <li>・東栄インターに近い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧小学校の取り壊しが必要</li> <li>・敷地に高低差がある</li> <li>・敷地への入口が急こう配である</li> </ul>

\* 「東栄病院付近」以外は、J R 飯田線利用者の交通手段の確保など、利便性が求められる

### <意見等>

#### ①旧本郷校舎付近（明石(株)旧東栄工場用地）

- ・近隣町村の理解が得られやすい位置である
- ・東栄町の中心部で施設が集約されており利便性が高い
- ・広大な土地で理想的な施設整備ができる
- ・病院と小学校等の施設が隣接するメリットが疑問

#### ②旧東栄小学校跡地

- ・通院の際に買い物、金融機関などの用事が足せて利便性が高い
- ・周辺道路が狭い

### ③東栄病院付近

- ・ 建て替えの際に仮の病院施設が必要
- ・ 診療所としての活用は可能

### ④旧奈根小学校跡地

- ・ 三輪地区に病院を残すという歴史的背景がある
- ・ 病院の規模によっては建設が可能
- ・ 敷地に高低差があり、やや狭い

### その他

- ・ 東栄病院が東栄町に移管された際、現在の位置は動かさないとの約束があった
- ・ 三輪区は上記の件を含む陳情書を町に提出してある
- ・ 本郷区は旧東栄小学校を候補地とするよう町に要望書を提出してある
- ・ 三輪地区、本郷地区を始め、他地区にも十分な説明を必要とする

## <結論>

本委員会で検討した結果、東栄町の中心部で敷地も広く、周辺の施設も集約されて利便性が高く、近隣町村の理解も得られやすい位置にある「明石(株)旧東栄工場用地」が病院整備の候補地として最もふさわしいという意見が多数であった。次いで、通院の際に買い物、金融機関などの用事が足せて利便性の高い「旧東栄小学校跡地」の意見が多く、歴史的背景から「旧奈根小学校跡地」という意見もあった。

これらのことから、本委員会としては、「明石(株)旧東栄工場用地」が病院整備の候補地として適地であるという結論に至った。

なお、候補地を決定する際には、陳情書を提出している三輪区、要望書を提出している本郷区を始め、全住民に対して十分な説明をし、理解を得るよう努めなければならないことを申し添える。

### 3. 経営形態

#### <検討内容>

経営形態については、財政的な側面や医療・介護従事者等の人材が密接に関係することから、東栄町としての考えや指定管理者である社会医療法人財団せせらぎ会の考えによるところが大きい。

このため本委員会としての検討事項は、今後東栄町が行う協議等に対する要望とする。

#### <意見等>

- ・公設民営に限らず、公設公営、その他の方法などあらゆる可能性についての検討が必要
- ・検討の際は、当事者である東栄町、指定管理者の考え方のみならず、東栄町議会、関係機関等の意見や助言を参考に経営形態を定めていただきたい
- ・住民や地域が支えていく病院という意味では、住民の参加型による組織での検討が必要

#### <結論>

指定管理者制度による協定期間が平成 29 年 3 月末までであることから、今後の経営形態については早急に東栄町と指定管理者である社会医療法人財団せせらぎ会との協議により方向性を示し、東栄町議会や関係機関との協議を重ねた上で結論を出されることを要望する。



## 東栄病院整備検討委員会設置要綱

(目的等)

第1条 この要綱は、東栄町国民健康保険東栄病院及び附属診療所整備について検討するため、東栄病院整備検討委員会（以下、「委員会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 委員会は、前条の目的達成のため、次の事項について検討する。

- (1) 東栄町国民健康保険東栄病院の整備規模に関する事。
- (2) 東栄町国民健康保険東栄病院の整備場所に関する事。
- (3) 附属診療所の設置に関する事。
- (4) その他前条の目的達成のために必要な事。

(組織)

第3条 委員会の委員は30名以内とし、次の各号に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 町議会議員
- (2) 医療関係者
- (3) 介護・福祉関係者
- (4) 区長
- (5) 行政関係者
- (6) 学識経験を有する者

2 この委員会の任務を達成するために、会長は、必要に応じて随時参考人を招致できるものとする。

(会長、副会長)

第4条 委員会に会長1名、副会長1名を置く。

- 2 会長及び副会長は委員の互選により定める。
- 3 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、1年とする。ただし、役職により選任された委員はその在職期間とする。

- 2 委員に欠員ができたときは、新たな委員を委嘱することができる。

(会議)

第6条 委員会は、会長が招集し議長になる。

- 2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、福祉課において行う。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、会長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成26年8月1日から施行する。

東栄病院整備検討委員会委員

定数 30名以内

任期 自 平成26年8月 1日

至 平成27年7月31日

氏名	役職
丹羽治男	せせらぎ会理事長（東栄病院長）
鈴木義治	せせらぎ会常務理事（事務長）
佐々木加津之	よつば歯科クリニック
峯田明	東栄薬局 *兼任・本郷区長
山本典式	社会福祉協議会長
佐々木経人	民生委員協議会長
三城富子	明峰福社会（やまゆり荘長）
森イツ子	みおつくし
亀山志津子	グループホーム東栄の家
杉山知実	地域包括支援センター
中野弘一	御殿区長
峯田明	本郷区長（副区長会長）*兼任・東栄薬局
伊藤敏夫	下川区長
伊藤孝行	園区長
鈴田勝美	三輪区長（区長会長）
藤田壽美	振草区長
初澤宣亮	町議会議員（議長）
平賀英俊	町議会議員（副議長）
佐々木嘉朗	町議会議員（文教福祉委員長）
加藤彰男	町議会議員（文教福祉副委員長）
伊藤久代	町議会議員（文教福祉委員）
原田安生	町議会議員（文教福祉委員）
柴田吉夫	町議会議員（せせらぎ会理事）
伊藤勝	老人クラブ代表
片桐邑司	前区長会長
村上孝治	副町長
金田久世	福祉課長補佐兼介護保険係長
松井淳美	福祉課 保健師

## 東栄病院整備検討委員会検討経過

### 第1回委員会

平成26年8月6日(水) 13:50~15:20 東栄町役場 会議室

協議事項

- ・正副会長選任
- ・医療の状況等について
- ・「医療のあり方検討委員会」について
- ・今後の進め方について
- ・会議の公開及び議事録の公開について

### 第2回委員会

平成26年8月25日(月) 14:00~16:10 東栄町役場 会議室

協議事項

- ・東栄病院の規模に関する事

### 第3回委員会

平成26年9月17日(水) 14:00~15:40 東栄町役場 会議室

協議事項

- ・東栄病院の規模に関する事

### 第4回委員会

平成26年10月14日(火)

現地視察 13:00~14:15 4箇所

委員会 14:30~16:00 東栄町役場 会議室

協議事項

- ・東栄病院の整備場所に関する事

### 第5回委員会

平成26年11月10日(月) 19:00~21:15 東栄町役場 会議室

協議事項

- ・東栄病院の整備場所に関する事

### 第6回委員会

平成26年11月27日(木) 19:00~21:00 東栄町役場 会議室

協議事項

- ・東栄病院整備検討委員会報告書(案)について
- ・東栄病院の経営形態について

